

(別紙様式2)

令和4年度 台東区学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数 104 人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

小学生児童数や共働き世帯の増加などにより、申請者数が年々増加し、予測を超える申請者数となったため。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

児童の放課後の居場所の確保に向けて、今後の需要を予測しながら、こどもクラブや放課後子供教室、児童館の運営を一体的に行っていく。

(2) 具体策

- ・こどもクラブ新設・既存施設の定員拡大
- ・放課後子供教室の実施校の拡大
- ・児童館（ランドセル来館事業）の利用促進
- ・ベビーシッター利用支援事業の活用（小学校1～3年生対象）

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

こどもクラブ新設にあたり、物件確保や施設改修、こどもクラブ運営まで一括して民間事業者が担う「民設こどもクラブ」の誘致を促進し、早期の施設整備を図る。こどもクラブの新設・定員拡大等を集中的に対策を講じることで、待機児童を大幅に減少させる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	6,684	6,826	6,896	6,968	7,101
増減	—	142	70	72	133
登録児童数	1,077	1,146	1,272	1,320	1,325
増減	—	69	126	48	5
待機児童数	54	57	65	42	104
増減	—	3	8	▲23	62

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	7,174	7,080	7,105	
増減	73	-94	25	
登録児童数	1,370	1,499	1,540	
増減	45	129	41	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・既存こどもクラブの定員拡大 ・放課後子供教室の実施 ・ベビーシッター利用支援事業の活用	・既存こどもクラブの定員拡大 ・こどもクラブの新設 ・ベビーシッター利用支援事業の活用	・既存こどもクラブの定員拡大 ・放課後子供教室の実施	
待機児童数	140	137	0	
増減	36	-3	-137	▲104